

過去の震災から学び備える

1995 年の「兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）」や 2011 年の「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」をはじめ、最近では 2016 年の「熊本地震」や 2018 年の「北海道胆振東部地震」のように、日本では地震による大きな被害を何度も経験してきました。

●八重山地方で発生した地震や津波の被害

私たちの住む八重山地方においても例外ではありません。

1958 年（昭和 33 年）3 月 11 日、石垣島北東沖で発生した地震では、石垣市や西表島で震度 5 を観測し、この地震による強い揺れでブロック塀の倒壊などで 2 名の方が犠牲になっています。

また、津波被害では、1771 年に発生した地震により大きな津波、「明和の大津波」が発生し、宮古島・八重山地方で死者・行方不明者は約 1 万 2 千人にのぼります。

（「日本被害地震総覧」より）

このように八重山地方でも過去には、地震や津波によって多大な被害が発生しているのです。



1958 年 3 月 11 日石垣島北東沖地震による被害

●過去の震災から学んだことを未来に生かすために

いくつもの震災を経験する中で、私たちは多くのことを学びました。

特に「阪神・淡路大震災」以降は、建築物の耐震対策が進み、家屋内での家具の固定が推奨されたほか、当時の救助活動では、家族・隣近所の人々が助け合い多くの人が救出されたことを例に「自助、共助、公助」が見直される契機となりました。

このように過去の災害から学んだことは、その後の防災対策に生かすとともにこれらを教訓として次の世代につなげていく必要があります。いつ発生するか分からない地震や津波に遭遇した時の対応や避難等の行動について、身近な人たちと確認する機会を作りましょう。

また、非常用品の備蓄や家具の固定、避難場所や避難経路、連絡方法を日頃から確認するなど、いざという時のために備えておきましょう。



防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2159

石垣島地方気象台はこちらから



気象庁マスコット
はれるん